

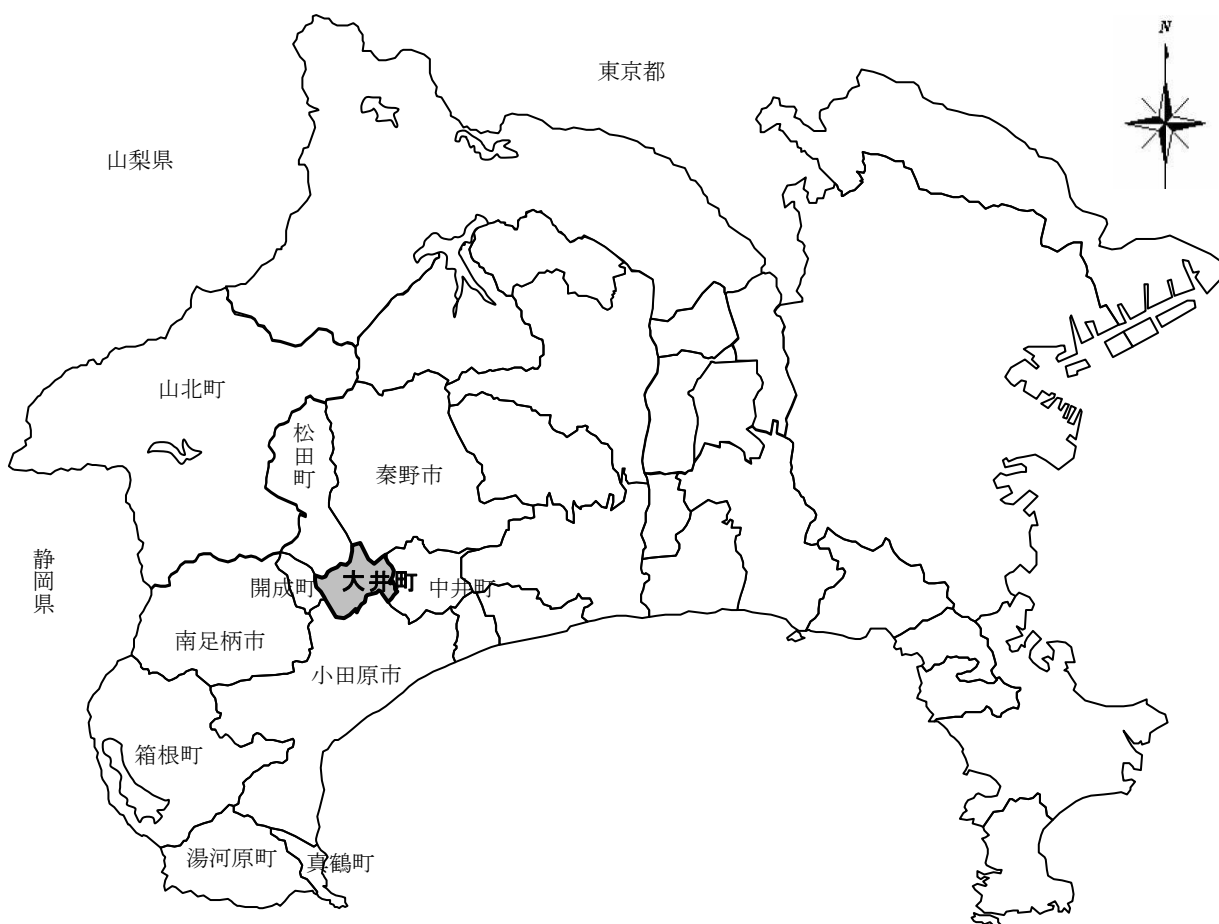
# 1.地勢・気象・沿革

## (1)地勢

本町は、西部が開けて平地をなし、酒匂川を隔てて箱根連山に取り囲まれ、東部は丘陵が起伏して大磯地塊を背後に受け、北部は松田町を経て丹沢山塊に、南部は小田原市を隔てて相模湾に達している。そのため、気流は複雑な様相を呈するが、寒冷な北風はほぼ防がれ、冬季においても温暖な南風が平野をおおっている。この結果、年間を通じて寒暖の差が少なく、地域全体が良好な気象条件に恵まれている。気温、雨量共に全域的にわたり少なく、各種作物、果樹等の栽培に適している。

## (2)大井町の位置

東経	139° 9' 37"	}	(金子1995番地 大井町役場)
北緯	35° 19' 25"		
海抜	36.48m		
東西	5.62km		
南北	5.18km		
面積	14.71km <sup>2</sup> (昭和62年10月1日)		
	14.41km <sup>2</sup> (昭和63年10月1日)		国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」
	14.38km <sup>2</sup> (平成26年10月1日)		国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」



### (3)大井町の大字と自治会



(4) 気象の状況

雨 量

区 分	平成 29 年			平成 30 年			令和元年		
	雨 量	降雨日数	平均降雨量	雨 量	降雨日数	平均降雨量	雨 量	降雨日数	平均降雨量
	mm	日	mm/h	mm	日	mm/h	mm	日	mm/h
1月	15.5	3	5.2	77.5	5	15.5	17.0	3	5.7
2月	36.0	7	5.1	7.0	3	2.3	41.5	5	8.3
3月	98.0	10	9.8	247.0	11	22.5	90.0	12	7.5
4月	152.5	10	15.3	130.5	7	18.6	172.0	11	15.6
5月	77.0	7	11.0	172.5	10	17.3	185.5	9	20.6
6月	112.0	9	12.4	153.5	11	14.0	232.0	15	15.5
7月	44.0	8	5.5	238.5	8	29.8	163.5	19	8.6
8月	95.0	14	6.8	139.0	9	15.4	119.5	8	14.9
9月	232.5	14	16.6	284.0	14	20.3	90.0	8	11.3
10月	292.5	20	14.6	46.5	9	5.2	550.0	16	34.4
11月	34.0	7	4.9	28.5	9	3.2	112.0	10	11.2
12月	13.5	2	6.8	64.5	9	7.2	56.0	9	6.2
計	1,202.5	111.0	9.5	1,589.0	105.0	14.3	1,829.0	125.0	13.3

資料:防災安全課(町雨量計)

湿 度

	平成 29 年				平成 30 年				令和元年		
	最高	最低	平均	実効	最高	最低	平均	実効	最高	最低	平均
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
1月	99.9	16.1	55.6	56.3	99.9	18.3	58.6	58.8	93.8	14.4	59.7
2月	98.5	12.4	58.0	57.3	94.8	16.4	56.8	57.3	99.9	28.5	67.7
3月	94.4	18.0	67.2	66.6	99.9	13.5	69.4	69.5	99.1	19.8	65.4
4月	99.9	15.6	69.2	70.0	99.9	26.3	68.7	68.5	99.9	18.7	68.9
5月	99.1	27.2	73.4	72.9	99.9	27.0	70.7	69.6	99.9	27.2	70.0
6月	99.9	20.1	75.4	74.6	99.9	31.1	80.7	81.2	99.9	36.1	82.6
7月	99.9	54.0	79.2	79.3	99.9	44.3	78.4	78.0	99.9	56.1	86.6
8月	99.9	49.4	84.3	84.5	99.9	34.7	77.9	78.2	99.9	49.7	81.5
9月	99.9	39.1	81.2	81.3	99.9	37.8	85.5	84.6	99.9	50.5	79.6
10月	99.9	22.3	82.7	83.4	99.9	27.5	75.1	76.5	99.9	29.2	82.2
11月	99.9	28.3	70.2	69.9	99.9	36.6	76.4	76.0	99.9	34.4	75.6
12月	99.2	21.0	62.2	62.6	99.9	24.6	70.7	72.1	99.9	17.1	71.6

※令和元年分より、消防年報の「実効」の項目が削除された。

資料:防災安全課(消防年報)

気 温

	平成 29 年			平成 30 年			令和元年		
	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均
	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
1月	20.1	-2.6	5.9	15.0	-4.1	4.8	15.4	-0.8	5.8
2月	20.0	-2.5	6.6	15.9	-1.9	5.3	20.9	-0.9	7.5
3月	15.7	-0.8	7.6	21.8	2.0	11.6	21.8	-0.1	10.2
4月	26.7	3.3	14.1	28.1	5.6	16.7	25.1	-0.2	12.6
5月	29.3	9.3	19.3	30.4	9.3	19.6	29.2	7.3	18.6
6月	29.7	13.5	21.2	33.4	14.3	22.3	31.1	13.6	20.9
7月	34.1	21.1	26.8	36.4	20.0	27.9	34.2	17.3	23.9
8月	36.8	19.8	26.2	36.4	17.1	28.0	35.5	21.0	27.6
9月	33.1	15.3	22.3	31.9	15.4	22.8	36.1	17.2	24.5
10月	29.5	8.6	17.1	32.5	10.6	18.8	32.2	12.2	19.2
11月	23.7	2.6	12.5	23.5	5.6	13.8	22.9	0.9	12.9
12月	16.8	-2.7	6.6	24.1	-1.0	8.7	19.7	1.4	8.9

資料:防災安全課(消防年報)

風 速

区 分	平成 29 年		平成 30 年		令和元年	
	平均風速	瞬間最大風速	平均風速	瞬間最大風速	平均風速	瞬間最大風速
	m/s	m/s	m/s	m/s	m/s	m/s
1月	2.4	23.0	2.2	25.1	2.0	21.4
2月	2.4	27.5	2.3	20.9	1.8	21.4
3月	2.0	15.8	2.5	24.7	2.2	20.3
4月	2.4	26.1	2.7	25.5	2.2	23.8
5月	2.3	26.2	2.4	20.5	2.2	21.3
6月	2.0	20.3	2.0	20.2	1.9	26.2
7月	2.1	17.6	2.4	24.1	1.7	21.0
8月	1.7	17.1	2.4	19.3	2.2	19.9
9月	1.8	25.4	1.6	29.4	1.9	25.4
10月	1.6	27.5	1.8	29.1	1.9	28.2
11月	1.9	19.0	1.5	10.1	1.8	18.1
12月	2.2	19.7	1.6	18.7	1.5	18.0

資料:防災安全課(消防年報)

### (5) 町の歴史

町内より発見されている出土品から、縄文時代の末期には丘陵地に人々が住んでおり、山田地区一帯に弥生時代から集落が造られていたとみられ、奈良時代末期とみられる古墳も発見されている。中世のころには、この地帯は現在本町の名となっている「大井の庄」と呼ばれており、篠窪・柳は篠窪郷、高尾・赤田は中村郷、山田は山田郷、旧金田村は金子郷、金手郷と呼ばれていた。

この地方は、明応4年（1495年）北条早雲が小田原城より大森氏を追って小田原北条氏が支配し、天正18年（1590年）北条氏没後、徳川家譜代大久保氏の所領となり、一時稲葉氏が領したが、貞享2年大久保氏が再び所領した。当時、富士山の噴火や地震による被害、酒匂川の水害などを受けたが、小田原藩大久保氏の所領として明治維新を迎えた。明治維新後、小田原藩知事の所管となり、明治4年廃藩置県により足柄県に、明治9年神奈川県に組み込まれ、明治11年郡区町村制により現在の大字の区域が村として足柄上郡87ヶ村の中に属した。

### (6) 町の変遷

区分		町村制施行 明治22年4月1日 以前	町村制施行以後		その後の沿革	
合併関係						
大井町	旧相和村	栃窪村・篠窪村 柳村・高尾村 赤田村	上中村	組 合 役 場	相和村 新設合併 昭和21年11月3日 栃窪分離 昭和26年6月20日 (西秦野村に合併)	大井町 新合併 昭和31年 4月1日
		山田村	山田村			
	旧金田村	金子村 金手村	金田村		金田村	
	旧曾我村 大字上大井 大字西大井	上大井村・西大井村 下大井村・上曾我村 曾我大沢村・鬼柳村	曾我村		大井町分(上大井 ・西大井) 曾我村・小田原市 分に別れる (合併時)	